

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市中部身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市身体障害者協会 ・代表者名 理事長 中込 義昌 ・住所 川崎市川崎区大島1-8-6	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	[講習会・ボランティア育成事業] ・音声訳入門 11名 [作業室]令和3年3月31日現在 ・在籍数:生活介護 17名(定員15名) 就労継続支援B型 4名(定員10名)																																												
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>20,850,828</td> </tr> <tr> <td> 委託料他</td> <td>20,755,000</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>95,828</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>23,083,431</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>17,177,213</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>1,560,428</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>195,890</td> </tr> <tr> <td> 施設管理費</td> <td>4,149,900</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>▲ 2,232,603</td> </tr> </tbody> </table>	身障会館 (円)		収入	20,850,828	委託料他	20,755,000	その他	95,828	支出	23,083,431	人件費	17,177,213	事務費	1,560,428	事業費	195,890	施設管理費	4,149,900	差額	▲ 2,232,603	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">障害者福祉サービス (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>45,370,606</td> </tr> <tr> <td> 利用料他</td> <td>43,929,026</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1,441,580</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>45,114,816</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>39,411,551</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>2,260,633</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>2,860,330</td> </tr> <tr> <td> 施設管理費</td> <td>582,302</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>255,790</td> </tr> </tbody> </table>	障害者福祉サービス (円)		収入	45,370,606	利用料他	43,929,026	その他	1,441,580	支出	45,114,816	人件費	39,411,551	事務費	2,260,633	事業費	2,860,330	施設管理費	582,302	その他	0	差額	255,790	
身障会館 (円)																																													
収入	20,850,828																																												
委託料他	20,755,000																																												
その他	95,828																																												
支出	23,083,431																																												
人件費	17,177,213																																												
事務費	1,560,428																																												
事業費	195,890																																												
施設管理費	4,149,900																																												
差額	▲ 2,232,603																																												
障害者福祉サービス (円)																																													
収入	45,370,606																																												
利用料他	43,929,026																																												
その他	1,441,580																																												
支出	45,114,816																																												
人件費	39,411,551																																												
事務費	2,260,633																																												
事業費	2,860,330																																												
施設管理費	582,302																																												
その他	0																																												
差額	255,790																																												
サービス向上の取組	・会館では、会館ホームページによる情報発信をはじめ、関連施設やボランティアセンターでのチラシの配布等、多様な広報活動を行った。 ・作業室では、朝礼にて利用者が司会を行う等、能力向上への取り組みを行うとともに、利用者の高齢化・重度化に対応するため、看護師の指示のもと、利用者の健康管理や身体機能の維持改善などサービス向上に取り組んでいる。																																												

3. 評価 (評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・会館では、予定していた講習会の多くが中止になったが、広報誌「中身館通信」の発行を2回行い、会館ホームページでボランティア団体の活動紹介を掲載するなど、内容の充実を図った。 ・作業室では、利用者が主体的・自主的に行動するサポートを行った。ミーティングの際に利用者に司会を担当してもらったり、発言を促す取り組みをすることで、利用者の積極的な発言や、利用者間や職員、利用者間でのコミュニケーションが増えるなど、利用者の主体的・自主的な行動につながった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・必要に応じ税理士法人から助言を受け、適正な会計処理を執行している。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館ホームページによる情報発信をはじめ、関連施設やボランティアセンターでのチラシの配布等、多様な広報活動を行った。 ・利用者意見を反映するため、会館では利用団体懇談会を開催し、意見反映を行っている。作業室では、「思いカード」として、投書箱の設置、苦情受付方法の掲示、苦情解決担当者を設置し、文書または口頭にて、迅速かつ適切に対応している。 ・ボランティア団体、サークルを対象に会館利用者アンケートを実施し、意見要望等について改善を行った。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携やネットワーク構築などのスキルアップ等を目的に外部研修を受講しており、受講した職員が伝達研修を行い、事業所内で情報の共有を図るなど、スキルアップに寄与している。 ・非常災害に備えた取組みとして、BCP(大規模災害時事業継続計画)及び災害時要援護者洪水時避難確保計画を策定し、職員及び利用者へ周知を図った。災害時用品の備蓄量を見直し、新たに備蓄するなど、非常災害対策の強化を図った。また、安心安全の取組みとして、防災訓練を2月に1回行うとともに、ヒヤリハットも報告を取り、毎日の職員ミーティングや月一回の職員会議等にて、周知・検討し、再発防止を図るなど、資質向上の取組みを行った。 ・会館の情報セキュリティマニュアルを改訂し、全職員を対象に情報セキュリティ研修を実施するとともに、チェックリストにより確認した。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な利用に支障をきたすことのないよう、毎日チェック表により施設設備の点検を実施している。 ・施設管理について、概ね適正に管理運営を行っている。 					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他 加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- 会館及び作業室のホームページを活用し、パソコンやスマートフォンを利用する方々を含め、幅広い世代に情報提供ができるよう、サービス向上に取り組んでいることが評価できる。
- BCP(大規模災害時事業継続計画)及び災害時要援護者洪水時避難確保計画を見直し、災害対策対策の強化を図ったことが評価できる。
- 作業室において、名刺の受注可能性や利用者ニーズの調査等現状調査と今後の運営方針を検討したことが評価できる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- 各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。